

厚生労働省指針13物質
文部科学省基準6物質

非配合

JASS 18 M-111 相当

F★★★★

無鉛

無クロム

速乾型1液アクリル系水性サビ止めプライマー

水性サビ止めプライマー

今までにない水性サビ止めプライマー!!

● 特 長 ●

防 錆 性 : 水性なのに優れた防錆性能を発揮します。

速 乾 性 : 3時間(23℃)で上塗り可能!!

環境配慮 : 鉛、クロム顔料を一切使用していません。

遮熱対応 : エコトップ遮熱などの水性遮熱塗料の下塗りとして使用できます。

仕上り性 : ロール、ハケでなめらかな塗膜に仕上がります。

● 用 途 ●

内部および外部の一般鉄部、旧塗膜の塗り替え

※床面には使用できません。

● 製品仕様 ●

●容量・荷姿

品 名	容 量	標準使用量	塗装面積	膜 厚
水性サビ止めプライマー	16kg	0.11~0.15kg/m ² ×1回塗り	106~145m ²	0.11kg/m ² で30μm 0.15kg/m ² で40μm
	3kg ※		20~27m ²	

※ 受注生産

●上塗り可能時間

5℃	10℃	23℃	30℃	35℃以上
6時間~4日間	5時間~4日間	3時間~4日間	2時間~4日間	1時間~4日間

●色相

グレー (EN-75近似色)

● 防 錆 効 果 ●

●耐複合サイクル防食性試験 36サイクル後 (建材試験センターにて実施)

水性サビ止めプライマー



◀ 36サイクルに耐える

水系錆止め下塗り材 (他社品)



◀ 点錆発生

● JASS 18 M-111 水系さび止めペイント 品質 ●

項 目	結 果	内 容
容器の中の状態	良 好	かき混ぜたとき、堅い塊が無く一様になること。
低温安定性 (-5℃)	良 好	変質しないこと。
塗装作業性	良 好	支障がないこと。
乾燥時間 (h)	3 時 間	8時間以内。
塗膜の外観	良 好	正常である。
上塗り適合性	良 好	支障がない。
塗膜中の鉛 (%)	配合していない	0.06%以下
塗膜中のクロム (%)	配合していない	0.03%以下
耐複合サイクル防食性	良 好	36サイクルで膨れ、さび及びはがれがないこと。



東日本塗料

各下地に対する密着性

適応下地		適応旧塗膜 ※	
鉄	○	エ マ ル シ ョ ン 塗 料	○
ステンレス(SUS-304)	○	ア ク リ ル 樹 脂 塗 料	○
ア ル ミ	○	塩 化 ビ ニ ル 樹 脂 塗 料	○
カ ラ ー ト タ ン	×	アクリルウレタン樹脂塗料	○
電 気 垂 鉛 メ ッ キ	×	タ ー ペ ン 系 塗 料	○
溶 融 垂 鉛 メ ッ キ	×	O P	○

※旧塗膜は必ず研摩して下さい。

上塗り可能製品

塗料系	弊社該当製品	
水性反応硬化型アクリル系	アクアレスメル類	○
2液水性ハルスハイブリッド型	エコトップ遮熱・エコトップ	○
水性反応硬化型シリコン変性アクリル	断熱コート・断熱コートEX	○
1液水性反応硬化型アクリルシリコン系	遮熱シリコントップⅡ・シリコントップⅡ	○
1液水性反応硬化型アクリルシリコン系	シリコンクール・シリコン水性カワラ	○
1液水性特殊変性シリコン系	フロンプロテクトコート	○
1液水性反応硬化型ウレタン変性アクリル系	ツインコートS-4	○

※上塗りに弱溶剤系および溶剤系塗料は使用できません。

※床面への使用は、付着強度に問題を生じる恐れがありますので避けて下さい。

標準工法

■新設及び改修時

工程	材 料 名	使用量 (kg/m ²)	上塗り可能時間 (23℃)	備 考
1	素地調整	——	——	素地調整を参照し、ケレンして下さい。
2	水性サビ止めプライマー	0.11~0.15	3時間~4日間	水道水にて0~5%希釈し、中毛ローラー、ハケ(水性鉄骨用)、エアレスにて塗布。
3、4	各種上塗り可能製品 (上記参照)	——	——	各製品の仕様に従って下さい。

※工程2 金属素地が現れている箇所は、水性サビ止めプライマー (0.11~0.15kg/m²) を2回塗布して下さい。

素地調整

素地調整の程度	既存塗膜の状態	素地調整後の素地状態	工具および工法	SSPC規格
1種ケレン	とくに腐食の著しい状態	塗膜、錆を完全に除去し、ピカピカした金属面とする。	ブラスト法	SSPC-SP5 SSPC-SP10
2種ケレン	塗膜が劣化し、腐食のはなはだしい状態	塗膜及び錆を除去し、鉄肌をあらわす。活膜が存在する場合は、残す。	ディスクサンダーなど動力工具とワイヤーブラシなど手工具の併用	SSPC-SP3
3種ケレン	塗膜の殆どが活膜で部分的に損傷や発錆が見られる状態	全面に工具をあてて劣化塗膜を除去し、発錆部は錆を落とし鉄肌をあらわす。	ディスクサンダーなど動力工具とワイヤーブラシなど手工具の併用	SSPC-SP2
4種ケレン	活膜であって変色・白亜化・付着物などが多い状態	粉化物および汚れを除去し清浄にする。	ワイヤーブラシやサンドペーパーなどの手工具	——

SSPC 表面処理規格 (アメリカ)

施工上の注意事項

1. 下地は、砂、ゴミ、ホコリ等を完全に取り除き、充分に乾燥させておく必要があります。
2. サビの除去、旧塗膜の確認、異物付着等の下地処理については、耐久性に影響しますので充分に行って下さい。
3. よくかき混ぜて均一な状態にしてから使用して下さい。
4. 気温及び被塗物温度が5℃以下、湿度80%以上あるいは結露している条件下での施工は密着不良、ひび割れなどの原因となりますので避けて下さい。
5. 塗装後、翌日までに降雨、降雪等の心配がある場合には、施工を避けて下さい。
6. 冬期の施工は夜露、結露の発生が考えられますので、午後3時以降の作業は避けて下さい。また、寒冷地では屋外の施工も避けて下さい。
7. 夜露、高湿度等で被塗物が結露している場合は、ウエス等で拭き取り、乾燥させてから塗装して下さい。
8. 上塗りに弱溶剤系および溶剤系塗料は使用できません。
9. 硬化時間、硬化後の性能は、施工時の温度に大きく影響されます。
10. 他社製品を上塗りする場合には、充分テストの上ご使用下さい。
11. 溶剤タイプのサビ止め塗料に比べて幾分防錆性能が劣ります。沿海部でのご使用については避けて下さい。
12. 配管等の没水部への塗装は充分に注意して下さい。
13. 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時および施工後の換気を充分に行って下さい。

取扱い上の注意事項

1. 材料は引火性の危険性はありませんが、高温下 (60℃以上)、低温下 (0℃以下) での保管は避けて下さい。また、施工現場での保管は、雨等が当たらないようにし、外部の野積みは避けて下さい。
2. 目に入った場合は、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
3. 直接皮膚に触れないように充分注意して下さい。もし触れた場合はウエス等で充分に拭き取り、中性洗剤で洗って下さい。
4. 材料の保管、取扱いについては、消防法、労働安全衛生法、その他に基づき充分な管理をお願いします。
5. 廃棄する時は、産業廃棄物として処理して下さい。

※アレルギー性の特異体質、皮膚過敏症や呼吸系疾患を有する人は、取扱いを避けて下さい。(呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。) 容器に表示されている注意事項をご参照の上、安全に施工して下さい。詳細な内容が必要な場合には、安全データシート (SDS) をご参照下さい。

●お問い合わせは・・・・・・

東日本塗料株式会社



本 社 / 〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306
 埼玉工場 / 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518
 仙台営業所 / 〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320
 新潟営業所 / 〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730
 静岡営業所 / 〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063